



環境未来都市 北九州市

©teitan, City of Kitakyushu

報道発表資料

平成24年 5月 16日

環境局循環社会推進部

災害廃棄物調整担当課長 梶原

災害廃棄物調整担当係長 森

TEL: 582-2187

施設課長 安部

施設第二係長 折小野

TEL: 582-2184

石巻市の災害廃棄物の試験焼却の日程について

1 日程

～5月18日	石巻市が管理する一次仮置場(宮城県石巻市川口町)から宮城県が管理する二次仮置場(宮城県石巻市雲雀野町)に、災害廃棄物を運搬する。 二次仮置場の施設で、災害廃棄物を破碎・選別処理する。 破碎・選別後の災害廃棄物の放射能濃度を測定する。 搬出する災害廃棄物をフレコンバッグに詰める。 フレコンバッグの放射線量を測定する。 フレコンバッグに、トレーサビリティ用のタグを付ける。
5月19日	二次仮置場からトラックで北九州市へ搬出する。
5月22日	北九州市の日明積出基地ストックヤードに搬入する。
5月23～24日	試験焼却を実施する。(日明工場)
5月24～25日	試験焼却を実施する。(新門司工場)

粉末や粒状物の荷物を保管・運搬するための袋状の包装資材

2 試験焼却の手順

別添のとおり

試験焼却

①基本的な考え方

目的

- ・検討した運搬、焼却、埋立処分の各方法が適切であるか検証を行う。
- ・放射能濃度の測定結果について、想定と同じであるか検証を行う。

場所

○小倉北区 日明工場(ストーカ方式)

試験焼却量約32トン、混合率約10%で24時間連続運転

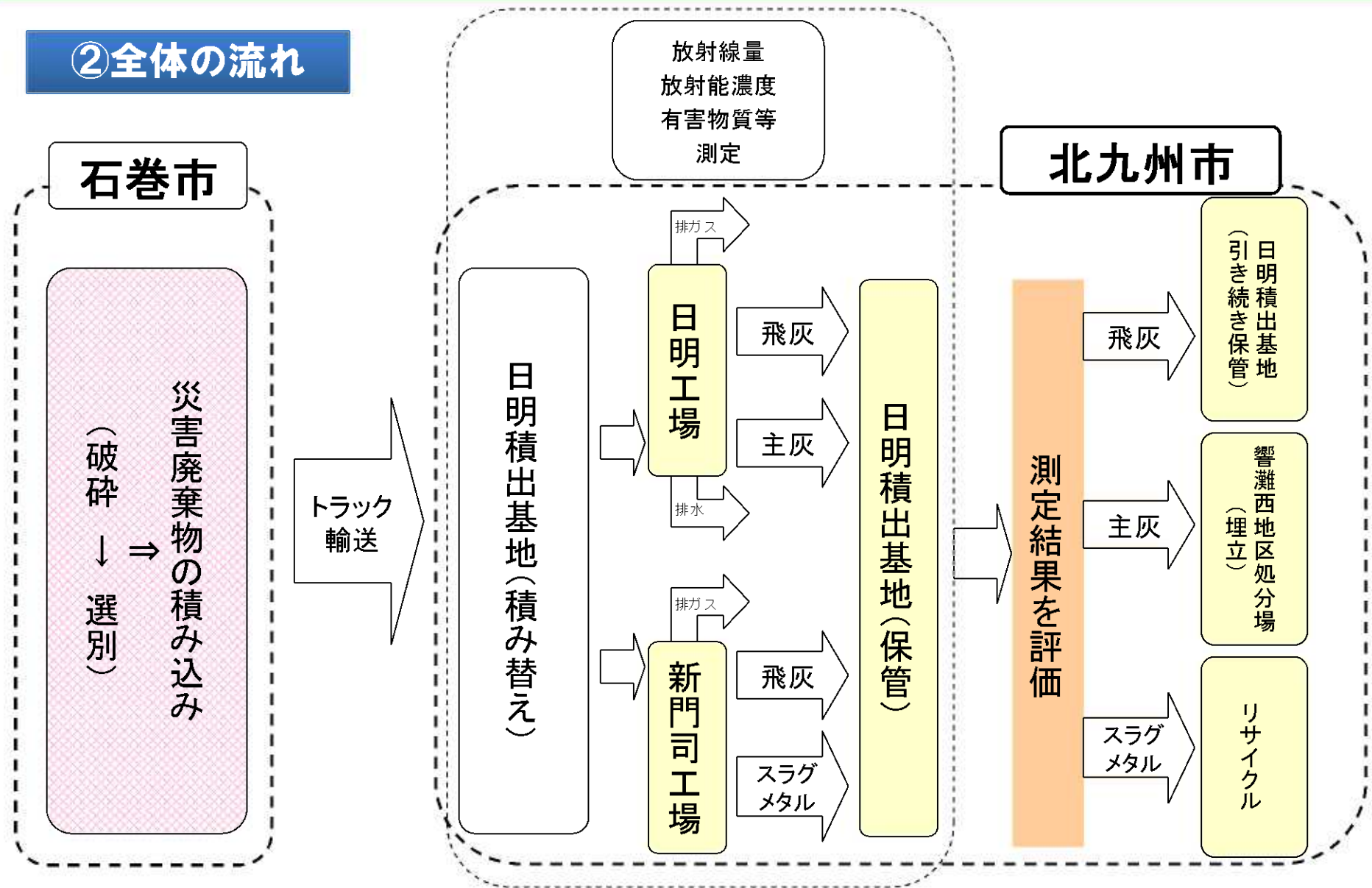
(※皇后崎工場は日明工場と同じストーカ方式)

○門司区 新門司工場(溶融方式)

試験焼却量約48トン、混合率約10%で24時間連続運転

試験焼却

②全体の流れ



試験焼却

③主灰・飛灰及びスラグ・メタルの処理

試験焼却後の主灰・飛灰及びスラグ・メタルは、放射能濃度等の測定結果が出るまで保管し、各測定結果が管理目標(主灰100Bq/kg以下、飛灰330Bq/kg以下)にあることを確認した後、

- ① 主灰については最終処分場に埋立
- ② 飛灰については引き続き保管
- ③ スラグ・メタルについてはリサイクル

保管場所

日明積出基地内のストックヤード

運搬方法

各工場⇒日明積出基地内のストックヤード

- ◇飛灰：フレコンバッグ詰めして、トラックによる運搬
- ◇主灰：トラック運搬 + シート養生
- ◇スラグ・メタル：トラック運搬 + シート養生

保管方法

- ◇飛灰：フレコンバッグ詰め
- ◇主灰：シートで覆う
- ◇スラグ・メタル：シートで覆う

試験焼却

測定内容

	測定項目(単位)	測定対象・場所
焼却工場	放射線量(μSv/h)	廃棄物搬入車両、主灰搬出車両、飛灰搬出車両
		敷地境界、灰ピット(飛灰)
	放射能濃度(Bq/kg)、(Bq/L)、(Bq/m ³)	主灰、飛灰(薬剤処理前・後)、スラグ、メタル、排水処理汚泥
		洗煙系原水、灰貯留槽原水、処理水
		排ガス(バグフィルター前・後、煙突)
	アスベスト(本/L)	プラットホーム
	有害物質26項目	主灰、飛灰(薬剤処理後)、スラグ、メタル、排水処理汚泥
	有害物質39項目、ダイオキシン類濃度(pg-TEQ/m ³ N)	処理水
ばいじん(g/m ³ N)、塩化水素、硫黄酸化物、窒素酸化物、PCB(mg/m ³ N)、ダイオキシン類濃度(ng-TEQ/m ³ N)	排ガス(煙突)	
日明積出基地	放射線量(μSv/h)	敷地境界
	放射能濃度(Bq/kg)	災害廃棄物
	アスベスト(本/L)	ストックヤード内